

議決権行使レポート

証券コード 9310

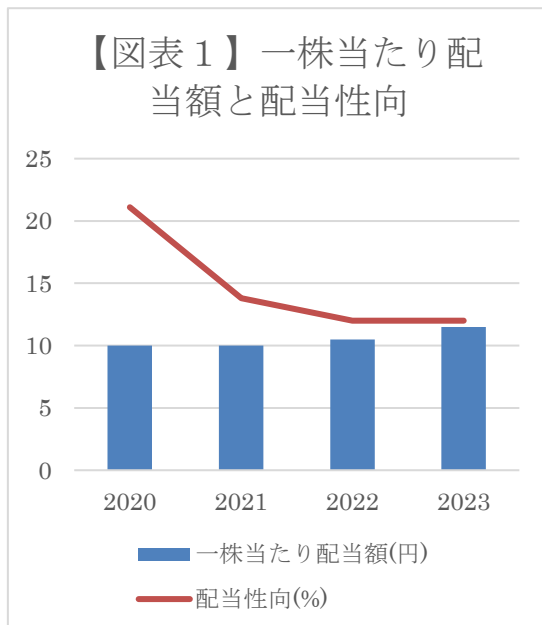
会社名 日本トランスシティ

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役7名選任の件	○		
安藤 仁 氏	○		
伊藤 豊久 氏	○		
小林 長久 氏	○		
小川 謙 氏	○		
豊田 長康 氏	○		
武内 彦司 氏	○		
山口 綾子 氏	○		
第3号議案 監査役1名選任の件	○		
安岡 隆一 氏			

上記の推奨をした理由

第1号議案 剰余金の処分の件

日本トランスシティでは、安定的な配当を基本とし、今後の経営環境の変化を踏まえ、財務体質の強化にも配慮しつつ、長期的・総合的な視野に基づく配当を実施している。



図表1は日本トランスシティの一株当たり配当額と配当性向を示すものである。今年は11.5円というように、前年の10.5円から1円増加しているため、安定的な配当を継続するには妥当であると言える。

また、配当性向の推移に着目すると、新型コロナウイルスの影響があつて2022年まで減少傾向であつたものの、それも大きなものではなく、今年は去年と同数値を保っているため、大きな問題はない。

したがって、剰余金の処分の件に賛成する。

第2号議案 取締役7名選任の件

取締役員7名のうち3名が社外取締役であり、ISSが定める社外取締役員の割合の基準を満たしている。

社内取締役の4名は、長年日本トランスシティに勤務しており、経営を指揮してきた実績や経営者としての豊富な経験・幅広い知識を有している。また、日本トランスシティの売上高・経常利益・1株当たり当期純利益・自己資本利益率は全て増加傾向にある。よってこの4名は、経営者としての見識、経験、実績に基づき、経営全般の適切な監督機能等において、十分に役割を果たすことができる人材であると判断することができる。

社外取締役の3名は、医療や人材教育、行政分野における豊富な経験・幅広い見識を有していることから、日本トランスシティの経営に多くの観点から貢献できると考えられる。

以上の理由により、取締役7名の選任は妥当であると考え、全ての役員の選任に賛成する。

第3号議案 監査役1名選任の件

安岡隆一氏は、長年にわたって財務・経理業務に関与した経験を有しているため、監査役としての業務を適切に遂行できると判断し、選任に賛成する。

・参考文献

日本トランスシティ 2023年3月期期末決算説明資料

日本トランスシティ第109回定時株主総会招集ご通知